

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 2 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① (KPIに関する検証については、 計画申請課が総括)		外部検証委員の検証						
					指標	本年度見込値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見					
伝統的工芸品益子焼を基盤とした「観光を基幹産業化」するためのまちづくり事業	地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	伝統的工芸品益子焼を基盤とした「観光を基幹産業化」するためのまちづくり事業のKPIに関する検証 →														
		<p>【マーケティング調査事業】 地域における一人あたりの観光消費額等を調査し、事業展開のためのデータ蓄積を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■マーケティング調査事業 ・観光消費動向に関するパラメータ調査の実施については、新型コロナウイルスの影響で正確な数値が調査不可能と判断し、未実施とした。 ・町独自のポイントカード(mashipoカード)運用システムの運用</p> <p>【事業費】5,555,438円 交付金</p>	42,252,729 うち産業分野 39,457,220 うち暮らし分野 2,795,509	<p>①地域活性化のための講習会参加者のうち就職者数(延べ人数) 0人</p> <p>②一人当たり観光消費額 0円</p> <p>③海外向け観光情報コンテンツの閲覧回数 173回</p> <p>④本事業を通じた移住・定住相談件数 169件</p>	①20人	②8,000円	③473回	④260人	①3人	②未実施	③2,839回	④132人	<p>B 改善・見直し</p> <p>①新型コロナの影響がありセミナー開催数が減少したり企業が採用活動を控えたりした結果、KPIを達成できなかった。</p> <p>②一人当たりの観光消費額については、毎年度、観光消費動向に関するパラメータ調査(アンケート)の結果を基に算出していたが、新型コロナウイルスの影響で正確な数値の調査が不可能と判断したため、未実施とした。</p> <p>③昨年度も増加傾向にあったがKPI未達成であったため、令和元年度までと異なるホームページに掲載を行った結果、KPIを大きく上回る閲覧回数となった。今後も更なる効果的な情報発信のために、コンテンツの充実に努めていく必要がある。</p> <p>④暮らし分野で検証</p>	<p>A このまま継続 2委員</p> <p>B 改善・見直し 2委員</p>	<p>新型コロナウィルスは今後なくならない。ウィズコロナ時代を前提に、ウイルスや医学的知見を基に、今後人々のコロナウイルスに対する脅威への意識や行動の変化を想定できるようなセミナーを実施し、ウィズコロナ時代でも安心して訪れることのできる観光地としての取組を町全体として先駆的に行っていく必要があるのではないか。</p>
		<p>【観光戦略会議開催】 地域関係者と共に観光戦略会議を構成し、DMO法人の設立を目指した観光戦略指針を検討する。観光戦略ブランディング部会において、コンセプトに基づく情報発信のため媒体制作を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■観光戦略会議の開催 観光戦略アドバイザーを招聘し、観光関連団体・事業者の代表者により構成される観光戦略会議を開催した。また、ブランディング部会において、ロゴ、HP、ポスター等の制作を行い周知に務めた。</p> <p>【事業費】4,056,000円 委託料、委員報酬</p>								<p>A このまま継続 3委員</p> <p>B 改善・見直し 1委員</p>	<p>DMOと観光関連事業者、観光行政等の一体的な取組が必要ではないか。現在のDMOは、まだ発展途上ではあると思うが、本来の形であるマネジメントをする組織というよりは、いちプレイヤーになってしまっている感がある。改めて、DMO、観光協会、観光行政等の組織再編の必要があるのではないか。</p>				

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 2 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① (KPIに関する検証については、 計画申請課が総括)		外部検証委員の検証	
					指標	本年度見込値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 伝統的工芸品益子焼を基盤とした「観光を基幹産業化」するためのまちづくり事業	【再掲】 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	<p>【インバウンド促進事業】 益子×セントアイヴス友好100年祭のセレモニーにおける記念事業として陶芸美術館での企画展等を実施。アフターコロナを見据えたインバウンド誘客を図るための海外向けWEBサイトを活用した情報発信等を行った。 英国トップセールス・町内事業者企画については、令和3年度の実施に向けての準備事業を実施。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■インバウンド誘客等トップセールス業務 英国トップセールス、益子×セントアイヴス友好100年祭両事業については、新型コロナの影響を受け、令和3年度以降に事業実施を延期し、HPの作成やポスター、チラシなど事前告知に係る事業を行った。 また、アフターコロナを見据えたインバウンド誘客を図るための海外向けWEBサイトを活用した情報発信等を行った。 益子×セントアイヴス友好100年祭のセレモニーにおける記念事業として陶芸美術館での企画展等を実施した。</p> <p>【事業費】13,639,047円 委託料、補助金及び交付金</p>	<p>【再掲】 42,252,729</p> <p>うち産業分野 39,457,220 うち暮らし分野 2,795,509</p>	【再掲】 ①地域活性化のための講習会参加者のうち就職者数(延べ人数) 0人	【再掲】 ①20人	【再掲】 ①3人	A このまま継続	新型コロナの影響もあり、英国トップセールス事業、益子×セントアイヴス友好100年祭事業については実施に至らなかった。新型コロナの影響を鑑み、R3年度以降事業実施について検討していく。 また、陶芸美術館での企画展の開催をとおしてR3年度の事業実施へ向けて広報、周知に繋げることができた。	A このまま継続 4委員	
		<p>【ラーニング・パッケージン事業】 体験型ツーリズム事業、宿泊体験プログラム等のメニューを増やすなどして、観光客の滞在時間延伸化につなげる。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■ラーニングパッケージン 町内で体験型ツーリズムに取組む1団体の活動を支援した。小麦栽培の内容で実施された。全3回。参加者数は24人であった。</p> <p>【事業費】200,000円 実施主体への交付金</p>		<p>【再掲】 ②一人当たり観光消費額 0円</p>	②8,000円	②未実施	A このまま継続	新型コロナの影響もあり、事業実施は1件のみとなった。しかしながら、コロナ禍においてグリーンツーリズムは推奨されていることもあり、引き続き本事業の実施を行っていく。	A このまま継続 3委員 B 改善・見直し 1委員	前ページ同様に、DMO、観光協会、観光行政の組織再編の必要性があると思う。具体的には、経営資源である各組織の人材、資材、財源と、各組織が行っている事業を整理統合し、効率的、効果的に町全体として一体感をもって、観光関連事業を展開していく必要があると思う。
		<p>【前・土祭】 農業・窯業の源である「土」をコンセプトに、地域資源に付加価値を見出し、町内外に魅力を発信し誘客に繋げるコト消費造成事業。本開催は令和3年度を予定。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■前・土祭 2021年度の本開催に向けた広報関連業務委託として、広報デザイン・広報物制作・JR駅構内広告などを行った他、土祭アーティストとの打合せを行い準備を進めた。</p> <p>【事業費】4,999,005円 実施主体への交付金</p>		<p>③海外向け観光情報コンテンツの閲覧回数 173回</p>	③473回	③2,839回	A このまま継続	2021年度の土祭本開催に向けた告知広報、事前準備を進めることができた。次年度は企画実施に向けて、関係者(団体)との調整を図り進めていく。	A このまま継続 3委員 B 改善・見直し 1委員	
		<p>【地域活性化就労支援・雇用創造事業】 観光の基幹産業化を図るための人材育成、雇用拡大、就職促進、雇用創出実践等、地域に職を求める・職をつくるメニューの実施とともに、マッチングを支援し、町内での就職希望者にとっては個人のスキルアップ、事業主においては自発的な雇用創造のための説明会、セミナー、相談会を開催する。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■就労支援・雇用創造事業 求職者、起業希望者のスキルアップのためのセミナーと合同就職面接会を開催した。セミナーは、19回開催し参加者47人、延べ人数153人であった。うち就職者18人、創業者4人を出すことができた。新型コロナウイルス感染症の影響があり、セミナーが2回中止となり、合同就職面接会を1回快哉予定だったが中止となった。</p> <p>【事業費】6,166,230円 事業推進員人件費、セミナー委託料、チラシ・ポスター印刷費等</p>		<p>④本事業を通じた移住・定住相談件数 169件</p>	④260人	④132人	B 改善・見直し	新型コロナウイルス感染症の影響があり、セミナーや合同就職面接会が開催できなかつたり、企業が採用人数を絞ったりして、KPIを達成できなかった。コロナ対策のセミナー等、受講者や採用企業のニーズにあったセミナーを開催する等の対策を実施する。	A このまま継続 2委員 B 改善・見直し 2委員	

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 2 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
					指標	本年度見込値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 伝統的工芸品益子焼を基盤とした「観光を基幹産業化」するためのまちづくり事業	【再掲】 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	【起業支援補助金】 飲食、製造、建設、不動産等の起業を行う個人や団体に初期投資経費の一部を助成することで、空き店舗の解消、雇用の創出を促し、地域活性化を図り、町民並びに観光客に質の高いサービスを提供する。 【担当課:観光商工課】	■起業支援補助金 起業支援補助金は10件の問合せがあり、うち3件に補助金を交付(衣料品製造業、飲食及び食品機械輸入業、宿泊業)した。 【事業費】1,241,500円 補助金	【再掲】 42,252,729 うち産業分野 39,457,220 うち暮らし分野 2,795,509	【再掲】 ①地域活性化のための講習会参加者のうち就職者数(延べ人数) 0人	【再掲】 ①20人	【再掲】 ①3人	A このまま継続	空き店舗の解消、地域活性化に寄与しており、一定の効果はあるが更なるPRの必要がある。	A このまま継続 3委員 B 改善・見直し 1委員	
		【益子焼販路拡大事業】 益子焼に関する団体の連携を図りながら、益子焼の振興のために商品開発、見本市出展、販路開拓等の事業を行う。 【担当課:観光商工課】	■益子焼販路拡大事業 益子焼関係団体協議会、益子焼協同組合、益子焼販売店組合において、日本各地でPR及び販路拡張ための活動をした。 【事業費】1,600,000円 補助金		②一人当たり観光消費額 0円	②8,000円	②未実施	A このまま継続	新型コロナウイルス感染症の影響があり、県外での販路拡張活動は制限を受けたが、県内開催に切り替えるなどで事業を行った。コロナ禍でも時機に応じた活動を行っていくよう検討していく。	A このまま継続 4委員	
		【地域産品(農産物)を活用した商品開発・販路拡大事業】 ブランド商品認定制度を活用し、開発された商品の価値をさらに高め、販路拡大を図る。 【担当課:農政課】	■交付金 地域農産物商品開発事業 【事業費】2,000,000円 交付金1/2 【商品】(開発数)開発済19点 開発支援16点		③海外向け観光情報コンテンツの閲覧回数 173回	③473回	③2,839回	A このまま継続	加工場での商品開発に対して、町内の生産者、飲食店からの関心は高く、今年度も新たな商品の開発が期待できる。今後は消費者ニーズにあった商品作りと販路の開拓が課題となる。	A このまま継続 4委員	
④本事業を通じた移住・定住相談件数 169件	④260人	④132人	A このまま継続								

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 2 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
					指標	本年度見込値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
ましこ観光振興推進プロジェクト	地方創生拠点整備交付金 (1/2国庫補助)	<p>【(仮称)平成館改修事業】 滞在型の観光地づくりを推進するため、皇室ゆかりの歴史的建築物である「平成館」(明治15年頃建築。戦時中は皇室の疎開先として利用。昭和48年に本町内へ移築。平成28年寄付により町所有)を新たに宿泊施設として改修し、宿泊施設の充実と、さまざまなおもてなしにより観光客の誘客を図る。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■施設運営 ・2020年2月22日のオープンから間もなく緊急事態宣言が発出され、宿泊数が大幅に落ち込んだが、秋以降は国のGOTO travelや県民一家族一旅行、町の宿泊クーポン事業もあり宿泊数は回復した。しかしながら、年明け以降は再び新型コロナウイルスの感染状況が悪化されたことなどにより、宿泊数は見込額を大きく下回った。併設されている「平和のギャラリー」については、小学校高学年向けに戦争や悠和館の歴史を伝える冊子の作成を行ったが、宿泊数と同様に、新型コロナウイルスの影響を受け来館者数は大幅に減少した。</p> <p>【事業費】2,619,839円 小学生向け冊子制作委託費、維持管理費</p>	2,619,839	<p>①(仮称)平成館宿泊者数 基準値 0人</p> <p>②(仮称)平成館収入額 基準値 0円</p> <p>③観光客宿泊者数 基準値 21,337人 (H27.1~12)</p>	<p>①1,300人</p> <p>②13,000千円</p> <p>③30,000人</p>	<p>①738人</p> <p>②6,417千円</p> <p>③25,305人</p>	A このまま継続	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、宿泊者数・収入額ともに見込値よりも大幅に下回った。 今後の情勢にもよるが、アフターコロナに向けて宿泊者数を増加させる施策を行っていく。 また、併設の平和のギャラリーについては、様々な世代に訴求できるように展示内容の見直しを行っていく。</p>	A このまま継続 4委員	
地域商社を核とした加工拠点整備計画	地方創生拠点整備交付金 (1/2国庫補助)	<p>【益子町地域振興拠点施設(加工施設)整備事業】 地域の特産品であるりんごやなし、ぶどう、ブルーベリーといった多様な果樹や野菜を活用し、民間業者、金融機関、町の出資により設立した地域商社(株式会社カンパニー)を核として、多くの顧客ニーズに対応する高付加価値商品や、保存期間が長く、加工も容易で町のブランドとなる商品の創出と、今後需要が見込まれる一次加工受託商品の製造が可能な食品加工施設を整備することにより、地方創生における課題の解決とその受け皿となる地域商社の経営基盤強化を図る。</p> <p>【担当課:農政課】</p>	<p>■加工施設(厨房施設)整備業務 ・乾燥、粉末、急速冷凍などの新たな加工技術を有した厨房機器の導入を行った。</p> <p>【事業費】20,229千円 交付金4/10</p> <p>■地域振興拠点施設整備事業調査研究費 ・新たに導入した厨房機器による加工品開発の研究を行った</p> <p>【事業費】20万円 交付金1/2</p> <p>■指定管理運営業務 【事業費】3,507,900円</p>	23,736,900	<p>①本施設整備により新たに製造・開発された商品数 0点</p> <p>②本施設整備により製造・開発された商品の販売増加額 0千円</p> <p>③本施設整備により新たに雇用了雇用者数 7人</p>	<p>①12点</p> <p>②7,358千円</p> <p>③10人</p>	<p>①19点</p> <p>②7,141千円</p> <p>③5人</p>	A このまま継続	<p>・コロナ禍により業態変更を迫られている町内飲食店の加工品開発、製造や消費者の需要の変化に合わせたレトルト食品の開発、製造など、コロナ禍のニーズに合わせた様々な加工を可能にしており、町内の経済活性化を図った。今後も引き続き、生産者や飲食店と連携を図り新たな加工品開発に取り組んでいきたい。</p>	A このまま継続 4委員	